

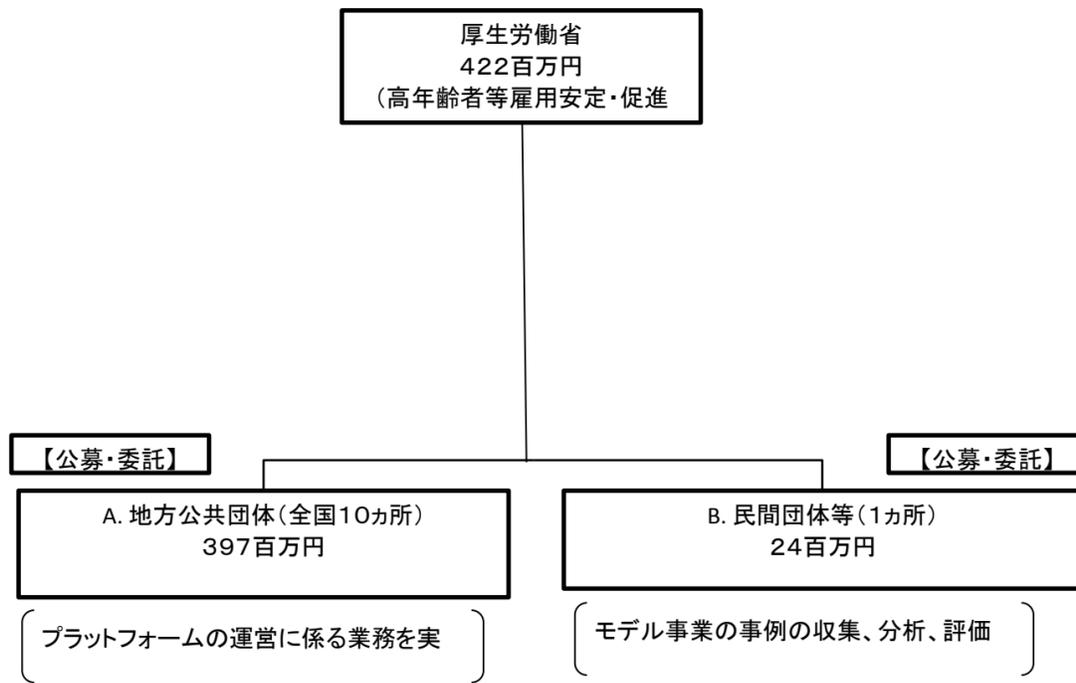
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	生涯現役社会実現プラットフォーム事業（仮称）		担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度（開始）・終了年度未定		担当課室	高齢者雇用対策課	高齢者雇用対策課長 中山明広			
会計区分	一般会計		政策・施策名	IV-3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	少子高齢化が進展する中、高齢者を含め全ての人が意欲さえあれば活躍できるような「全員参加の社会」の構築が必要とされているが、地域で就労・社会参加を希望する高齢者が数多く存在しているものの、現状ではその希望が満たされているとは言えない。そのため、高齢者が地域社会で「居場所」と「出番」が得られ、社会の支え手として活躍できるよう地域社会と高齢者のニーズに応じた高齢者の就労・社会参加を促進させる取組をモデル事業として実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	シルバー人材センターや社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの関係機関の連携強化及び情報共有を図るため全国約10カ所に「プラットフォーム」を設置する。 あわせて生涯現役シニア就労支援コーディネーター(仮称)を配置し、地域ニーズと高齢者ニーズのマッチング等を通じて意欲ある高齢者の就労・社会参加を促進する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算				422		
		補正予算						
		繰越し等						
		計				422		
		執行額						
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	予算編成過程において検討			成果実績	—	—	—	—
				達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	予算編成過程において検討			活動実績	—	—	—	—
				(当初見込み)	—	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	生涯現役社会実現プラットフォーム事業	—	397	平成26年度新規事業				
	生涯現役社会実現プラットフォーム支援事業	—	24	平成26年度新規事業				
	事務費	—	1	平成26年度新規事業				
				「新しい日本のための優先課題推進枠」422				
	計	—	422					

事業所管部局による点検					
項目	評価	評価に関する説明			
		国費投入の必要性	○	<p>広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。</p> <p>地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。</p> <p>明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。</p>	
事業の効率性	—	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	—	単位当たりコストの水準は妥当か。			
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			
	—	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			
事業の有効性	—	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
重複排除	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			
		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
		514	生涯現役社会活躍応援事業	厚生労働省・職業安定局	
		822	地域高齢者社会参加推進等モデル事業	厚生労働省・老健局	
	692	世代を超えたボランティア活動の推進	厚生労働省・社会・援護局	プラットフォーム事業については、①安定局のシルバー人材センター、②老健局の地域包括支援センター、③社会局のボランティアセンター等それぞれの所管している事業と関係機関のネットワークを構築し、地域の総合的な情報集約・提供機関の場として就労・社会参加を希望する高齢者やそのような高齢者を「支え手」として必要とする地域の事業主等に対する効果的な情報提供、マッチングを行うものである。	
点検結果		「日本再興戦略」(平成25年6月閣議決定)を踏まえ、「全員参加の社会」の構築のため、地域で就労・社会参加を希望する高齢者が地域社会で「居場所」と「出番」が得られ、社会の支え手として活躍できるようモデル的に実施するもので、優先度が高い事業であるため事業を実施する必要がある。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—	本事業は、生涯現役社会の実現に向けた社会環境を整備するため、シルバー人材センターや社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの関係機関との連携強化や情報共有を図り、高齢者の就業機会の確保等を推進する事業であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					